

第7回『学部・学科説明会』開催

今年度最後となる学部・学科説明会が、2月16日の木曜日に行われました。今回は、岐阜大学応用生物科学部の前澤重禮先生をお招きし、「農学系学部を目指している高校生に伝えたいこと」というテーマでお話をいただきました。

導入として「たまご」の漢字を例に挙げ、私たちが無意識に使い分けている「卵」と「玉子」の表記の違いから、「大学は『なぜだろう』と学生自身が考える場所である」というお話をしてくださいました。当たり前のように感じていたことが、実は不思議なことであるという事実に気づかされ、生徒たちも興味深く聞いていました。

なんとなく「理系に進もうかな…」と考えている高校生は多いと思います。そんな彼らが抱くであろう疑問をとりあげ、「理系」と一口に言っても様々な分野があることや、それぞれの分野が何を目標としているのかといった違いを分かりやすく説明してくださいました。



その上で、ご自身の専門である農学の分野がどのような職に関わってくるのかということや、農学に携わることの魅力について伝えていただきました。

上記のような大学での「学び」には、高校時に知識をいかに多く身に着けるかということが重要であるという話に、今すべきことを改めて見つめるきっかけになったと思われます。

